



2020年7月9日

各位

会社名 株式会社ヤマザワ
代表者名 代表取締役社長 古山 利昭
(コード：9993、東証第一部)
問合せ先 取締役管理本部長 佐藤 慎三
(TEL. 023-631-2211)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2020年4月10日に公表いたしました2021年2月期(2020年3月1日～2021年2月28日)第2四半期累計期間及び2021年2月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2021年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2020年3月1日～2020年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 55,000	百万円 250	百万円 270	百万円 60	円 銭 5.50
今回修正予想 (B)	57,300	1,200	1,230	670	61.48
増減額 (B-A)	2,300	950	960	610	
増減率 (%)	4.2	380.0	355.6	1,016.7	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年2月期第2四半期)	54,923	244	255	72	6.65

2. 2021年2月期通期連結業績予想数値の修正(2020年3月1日～2021年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 108,500	百万円 470	百万円 500	百万円 110	円 銭 10.09
今回修正予想 (B)	112,700	1,160	1,240	450	41.29
増減額 (B-A)	4,200	690	740	340	
増減率 (%)	3.9	146.8	148.0	309.1	
(ご参考) 前期通期実績 (2020年2月期)	109,709	627	698	△220	△20.25

3. 修正の理由

第2四半期連結累計期間の業績予想の修正につきましては、スーパーマーケット事業の以下の要因によるものであります。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う、マスクをはじめとする感染予防関連商品の売上が増加したこと、また内食需要の高まりによって売上高を押し上げたことにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに当初予想を上回る見通しとなりましたので、上記のとおり修正いたします。

また、通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの影響で下半期の先行きが不透明な点から業績への影響を予測することは難しい状況ですが、第2四半期連結累計期間の見通しを踏まえた上で、改装及び新設移転計画を下半期に実施すること等の、足元の事業環境を総合的に勘案し、前回発表予想を上方修正いたします。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって業績予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上